

年頭にあたって

北海道保健福祉部長 橋本 彰 人



新年明けましておめでとうございます。

北海道医師会の皆様には日頃から、本道の保健医療福祉行政の推進にあたり、深いご理解と温かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年を振り返りますと、一昨年の胆振東部地震災害からの復旧・復興に向け、多くの皆様から多大なる御支援をいただき、被災された方々が一日も早く安心した生活を取り戻せるよう、地元自治体はもとより、関係機関・団体の皆様と連携するとともに、庁内一丸となって住まいや暮らしの再建などに総力を挙げて取り組んでまいりました。

また、保健・医療・福祉の充実に向け、医師確保対策をはじめとした地域医療の確保やがん対策の総合的な推進、子どもの居場所等を中心とした地域のつながり支援などの子どもの貧困対策に加え、昨年8月に北海道ろうあ連盟が開設した北海道聴覚障がい者情報センターの運営や遠隔手話サービスの実施等に対する支援、地域の多世代の方々が支え合う共生型地域福祉拠点の機能強化など、多くの施策を進めてまいりました。

本年も引き続き、「暮らしを守る地域医療の確保と健康づくりの推進」「誰もが暮らしやすい社会の構築」「医療・福祉サービスを担う人材の確保」などの重要な政策ごとに、より効果的に施策を展開してまいります。

まず、「暮らしを守る地域医療の確保と健康づくりの推進」では、皆様に多大なご尽力をいただき、全国に先駆けて実用化したメディカルウィングの効果的かつ円滑な運航や、受動喫煙ゼロの実現を目指し、総合的な受動喫煙防止対策を進めるほか、引き続き、将来を見据えた効率的な医療提供体制の構築など、地域に必要な医療の確保や健康で安心して活躍できる社会づくりに取り組んでまいります。

次に、「誰もが暮らしやすい社会の構築」では、アクティブシニア等の活躍による社会参加の促進、地域共生社会の実現に向けた包括的な支援の充実のほか、ギャンブル等依存症対策の強化などに取り組み、誰もが共に支え合い一人ひとりが活躍できる社会の構築を着実に進めてまいります。

さらに、「医療・福祉サービスを担う人材の確保」では、地域医療を担う医師の養成・確保はもとより、

医療法及び医師法の一部改正による新たな医師確保計画の策定により、医師の地域偏在の解消に向けた効果的な施策を推進するとともに、保育士や介護職員等の福祉人材の労働環境の改善や質の向上を支援する研修の実施など、医療や福祉サービスに必要な人材の確保とキャリア形成を積極的に推進してまいります。

今後とも、誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる地域社会の実現に向け、関連分野の施策や事業とも十分に連携を図りながら、道民生活に不可欠な保健・医療・福祉施策のより一層の充実・推進に努めてまいりますので、皆様の御理解と御協力をお願い申し上げます。

この一年が、皆様にとりまして、実り多き素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭の御挨拶といたします。



謹賀新年

2020年 元旦

北海道医師会

会 長	長 瀬 清	常任理事	生 駒 一 憲	理 事	稻 葉 秀 一
副 会 長	深 澤 雅 則	"	笹 本 洋 一	"	久 島 貞 一
"	藤 原 秀 俊	"	櫻 井 晃 洋	"	千 石 一 雄
"	佐 古 和 廣	"	青 木 秀 俊	監 事	藤 瀬 幸 保
常任理事	北 野 明 宣	"	荒 木 啓 伸	"	篠 島 弘
"	三 戸 和 昭	理 事	松 家 治 道	"	外 園 光 一
"	目 黒 順 一	"	立 石 圭 太	顧 問	中 川 俊 男
"	藤 井 美 穂	"	恩 村 宏 樹	参 与	三 宅 直 樹
"	橋 本 洋 一	"	阿久津 光 之	"	宮 本 慎 一
"	水 谷 匡 宏	"	沖 一 郎	"	小 熊 豊
"	山 科 賢 児	"	文 屋 学	代 議 員 会 長	本 間 哲
"	岡 部 實 裕	"	山 下 裕 久	代 議 員 会 長	井 門 明
"	伊 藤 利 道	"	今 野 敦	事 務 局 長	安 達 督

他職員一同

謹賀新年

2020年 元旦

北海道医師国民健康保険組合

理 事 長	長 瀬 清	理 事	山 下 裕 久	組 合 会 長	佐 藤 信 清
副 理 事 長	深 澤 雅 則	"	今 眞 人	組 合 会 長	神 田 雄 司
常 務 理 事	三 戸 和 昭	"	津 田 哲 哉	事 務 長	本 田 明
"	田 代 典 夫	監 事	我 妻 浩 治		他職員一同
理 事	中 村 興 治	"	外 園 光 一		
"	松 家 治 道	顧 問	赤 倉 昌 巳		